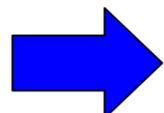


疾病の特徴

- 都民の死亡原因の第3位
- 都民が要介護状態となる原因の第1位



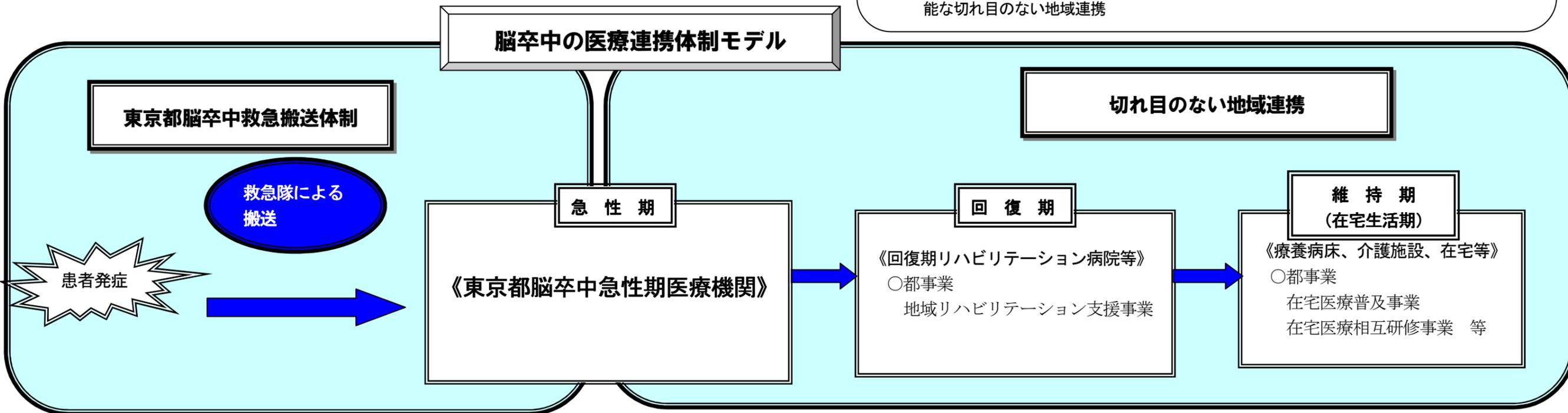
取組の方向性

目指す姿：救命と後遺障害の軽減

- ①脳卒中年齢調整死亡率の減少
- ②脳卒中による要介護者の減少

<取組事項>

- 発症後、専門的治療が可能な医療機関へ速やかに搬送される体制の確保
- 急性期を脱した後も、適切なリハビリが実施され、円滑に在宅療養へつなげることが可能な切れ目のない地域連携



検討組織及び検討課題

東京都全域での取組

《東京都脳卒中医療連携協議会》

【これまでの取組】

- 1 東京都脳卒中救急搬送体制の構築・評価検証（評価検証部会）
- 2 パスを活用した地域連携体制の整備（パス部会）
 - ・東京都標準パスの作成
 - ・パス合同会議の開催
- 3 脳卒中に係る普及啓発
 - ・ポスター・リーフレットの作成及びトレインチャンネルへの掲載など

【今後の取組】

- パス部会のあり方検討
- 脳卒中地域連携の推進
地域連携の実態把握調査の実施（パスの普及率等）⇒課題抽出、対応策検討

二次保健医療圏ごとの取組

《地域脳卒中医療連携圏域別検討会》

【これまでの取組】

- 1 脳卒中の救急搬送体制を円滑に運用するための検討
カレンダー方式による調整管理 ⇒ 端末方式への切り替え
- 2 パスの活用を含めた地域連携体制の検討
区部において標準パスの普及
- 3 ポスター、リーフレット等を活用した脳卒中の普及啓発活動
住民への普及啓発、患者教育の取組など

【今後の取組】

- 端末方式への切替後の医療機関相互の調整の継続
- 地域の実情に応じた、パスの普及や脳卒中に関する普及啓発の継続